



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2024～2025年度 RI会長 ステファニーA.アーチック
RIテーマ ロータリーのマジック

クラブテーマ「ロータリーの理解を深め、地域社会にロータリーのマジックを広めよう」

会長 仲原実圭 幹事 原 兄多

第1583回例会

2024.10.18(金)曇

司会：高村勝則君

ロータリーソング「日も風も星も」 指揮：杉山寿美子君

事務所 三島市泉町9-8 1F南
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 仲原実圭君

今週の16日水曜日に三島RCの例会に米山PAGと服部エレクト、私の3人で参加をし、卓話をしてきました。今期の高木会長の申し出で、「せせらぎ三島RCの子ども支援や国際奉仕のカンボジア、そして会員増強の話をお願いしたい」とのことでした。大先輩クラブの例会でそのような話など滅相もないとお断りしたのですが、再三にわたってお願いをされ当クラブの活動等を紹介する運びとなりました。約45分もの長時間の卓話でしたが、メンバーの皆さんが真剣に聞き入ってくれ、質問なども出てあっという間の時間でした。「継続事業として着々と活動していたんですね」などの感想を頂きました。また、本年度の地域に触れ合う農兵節のバレードは圧巻だったというコメントも頂きました。

今月の24日は「世界ポリオデー」です。明日19日に三島の3クラブは、今年も共同でポリオ広告・募金活動を行います。詳細は後ほど委員会より案内があると思います。

今日はポリオ活動についてご紹介します。

ロータリー財団の最重要活動のポリオプラスですが、年間事業費の約半部を費やしています。(表-1)

第3章	プログラム	
第30条	一般方針	70
30.010	新規プログラム	
30.020	試験的プログラム	
30.030	プログラムの審査	
30.040	プログラム参加者の利害の対立に関する方針	
30.050	性的虐待およびハラスメントの防止指針	
30.060	財団プログラムにおけるロータリアンの配偶者およびその他の家族の参加	
30.070	ロータリー推奨プログラムの設立	
第31条	重点分野	80
31.010	重点分野	
第32条	ポリオプラス	97
32.010	世界ポリオ根絶推進活動へのコミットメント	
32.020	一般方針	
32.030	アドボカシー活動	
32.040	ポリオ根絶アドボカシー活動タスクフォース(米国)	
32.050	国際アドボカシーアドバイザー	
32.060	ポリオプラスにおける他団体との連携	
32.070	補助金	
32.080	インターナショナル・ポリオプラス委員会	
32.090	国際ポリオプラス委員会	



ポリオ根絶活動とは？

ロータリーが資金を提供するリソースセンターが、パキスタンでのポリオ撲滅活動をどのように支援しているかをご覧ください。

ビデオ

次は、ポリオサバイバーが再び歩けるように！

インドでは10年以上前にポリオが根絶されましたが、ポリオの後遺症を抱える人びとは今でも特別なケアが必要です。このビデオでは、患者一人ひとりに合わせたカスタムメイドの義肢装具を製作する熱心な職人、サンディーブ・ティアギさんをご紹介します。デリーのセント・スティーブン病院で働く彼の仕事は、一歩ずつ、人びとの生活を変えています。

ビデオ紹介

このようなポリオによる被害者がひとりもなくなる世界を一日も早く実現できればと思います。

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	35/38	92.11%	35/38	92.11%
今回	28/38	73.68%	会員総数	40名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

石井君、伊丹君、入江君、大村君、岡君、杉橋君、土屋(和)君、土屋(巧)君、三輪君、渡辺君

(*出席免除会員の欠席者 片野君 山本君)

幹事報告

幹事 原兄多君

1. 次週は休会です。

11月1日の例会はガバナー補佐訪問です。

11月1日の例会終了後に理事会を開催しますので、議案のある委員会は準備をお願いします。

10月25日にクラブ懇話会を開催します。



本日は会計委員の卓話とプログラムがなっていますので、クラブの会計の話をして頂きたいと思います。

現状クラブで会長幹事未経験者が約半数いらっしゃいます。それはクラブの会計に携わったことが無い人が半数居ることですので、クラブの会計を皆さんに理解してもらう時間に来ればと思っています。

今年度仲原会長のテーマにロータリーの理解を深めるとありますので、当クラブの会計も理解してもらえたらと思います。

また、先月細則検討委員会のクラブ協議会で委員の方々から会計の話が出たと思いますが、そもそものクラブの会計を分かっていないと理解できない内容だったと思います。その内容の説明補足になればと思っています。

ちなみにクラブの内部規定に会計は細則検討委員を兼任するとありますので、私も細則検討委員になっています。

流れとしましては、現状のクラブ会計の説明、その問題点、そして細則検討の話まで来ればと思っています。

皆さんにお配りした資料は、前年度の会計報告です。

前年度の報告書の中に入っていて、8月には皆さんに配られているかと思っています。

せせらぎの会計は一般会計、特別会計、スマイル会計の三つに分かれています。口座が三つあるということなのですが。

一般会計 皆さんの会費を収入源として、各委員会事業であったりRIや地区の分担金、事務経費といったクラブ運営の会計です。殆どの収支がこの一般会計に該当します。

特別会計 主とというか周年事業をやるために使われる会計です。前年度35周年があったので支出に周年事業が計上されていますが、例年は支出がありません。

スマイル会計 文字通り皆さんからのスマイルを積み立てる口座です。前年度スマイルが410,121円あったということになります。以上、三つの会計・口座でせせらぎ三島の会計が成り立っています。例年この様な形になっています。

ここからはクラブ細則検討委員会内で出た話や、9月のクラブ協議会で各委員が発表された内容の深掘りになってきます。まず、一般会計にだけ繰越金がありません。定款があって細則があって内部規定がありますが、その内部規定第13条3項に繰越金は特別会計に入金されるとあるからです。そのため一般会計口座には余剰金がありません。この規定を無くすことで、毎年度残るお金が少しはありますので一般会計にも繰越金が貯まっていくようになるかと思っています。ただそうすると困ってくる口座があります、特別会計です。周年事業の費用を賄う口座にもかかわらず、特別会計に入ってくるお金は現状一般会計の繰越金しかないからです。

今年度の期首が294,833円でスタートしていますが、これからの各年度一般会計のお金が余らなければ、このままだと特別会計に入ってくるお金は無いので、次の40周年は今の繰越金294,833円で迎えることになります。

今年度が始まる前に仲原会長から近隣のクラブの決算書をいくつか見せてもらいました。

まず名前が特別会計ではなく周年積立金口座となっていて、そこに会員数×10,000円であったり20,000円の入金がされていました。その財源は一般会計からきていて、結果的に会費の中から毎年度決まり事で決まった金額を周年積立金にまわしているか、会費とは別項目で会員から徴収して積立金口座に入金しているかたちでした。ほとんどのクラブがこのやり方をしていました。

仮に現状の会費の中から周年積立金に一人10,000円、400,000円をまわすとすると、今度は一般会計の予算が厳しくなってきます。そこでスマイル口座です。

現状内規の13条5項にスマイルは一般会計予算には計上しないとあるので、次年度の奉仕活動費のために皆さんからお預かりしても、使いにくくなっているのが実情です。前年度もスマイル口座の出金がありません。これを改定し一般会計に前年度のスマイルを入金できるようにすれば、周年積立金口座に回すお金を確保できます。ただ、スマイルは翌年の奉仕活動費に使うということなので、奉仕に使っているかのチェックは必要になりますが。

今回は実務や実態に特化した話しをさせていただきます。整理すると、一般会計の繰越金は一般会計に残し特別口座には入金しない。周年事業のために積立をする。

スマイルを次年度の一般会計に入れられるようにする。

以上が会計委員会からの提案になります。

今後、細則検討委員会のクラブ協議会があると思いますので、今回の話しを参考に皆さんにも考えて頂けたらと思います。

本日はありがとうございました。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

佐野彰重さん(杉山君・米山君のゲスト)

おめでとう

入会記念日 10月26日 田村康晃君

